

2002年 6月 4日

報道関係者各位

杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(証券コード 4560 東証一部)

ActivX Biosciences, Inc. との共同研究契約の締結について

杏林製薬株式会社(東京都 代表取締役社長;荻原郁夫)は、5月31日米国のバイオベンチャー企業、ActivX Biosciences, Inc.(カリフォルニア州 President & CEO; John W. Kozarich)と、Ⅱ型糖尿病治療薬の候補化合物の探索研究に関する共同研究を実施する契約を締結いたしました。

本契約による共同研究期間は3年間で、当社は新しい作用機序や作用点を持つⅡ型糖尿病治療薬を創製するための新規創薬ターゲットについて ActivX Biosciences, Inc. と共同で探索研究を実施します。また、本契約により当社は共同研究から得られる成果を独占的に全世界で企業化する権利を取得しました。

今回の提携の主な目的は、同社の持つ最先端のプロテオミクス技術を用いて、新規創薬ターゲットを見出し、画期的な新薬を早期に創製することにあります。特に同社の高速蛋白解析技術は大量の生体試料について迅速に蛋白活性を解析するものであり、本技術を用いることにより、創薬ターゲットやバイオマーカーの同定が容易となります。これにより創薬研究において重要な標的およびリード化合物の探索研究の効率化・スピードアップが図られ、当社の創薬研究力をさらに強化することを期待するものです。

当社は中期経営計画である「MIC-'05 計画」の中で、『国際的な競争力のある創薬モデルの確立』を掲げており、シーズ探索のための日・米・欧先端研究機関との創薬研究ネットワークの構築を進めております。2000年には Scottish Biomedical Foundation Limited (スコットランド大学連合) と杏林スコットランド研究所を設立、2001年には国内研究機関(ゲノム創薬研究所、プロテオミクス研究所)との共同研究を開始しました。今回の ActivX Biosciences, Inc. との糖尿病領域における共同研究も本計画の一環としてそれらに続くものとなります。代謝性疾患(糖尿病等)は、当社の重点研究領域であり、同社との共同研究を通じて成果を早期に有用な薬剤の創製に結びつけていく所存です。

- 以上 -

| |
|------------------------|
| <お問い合わせ先> |
| 杏林製薬株式会社 企画室 |
| TEL : 03 - 3293 - 3414 |
| FAX : 03 - 3293 - 3450 |

参考資料

アクティヴィックス バイオサイエンス社の概要

会社名：ActivX Biosciences, Inc.

代表者：John W.Kozarich (President & CEO)

所在地：11025N.Torrey Pines Rd. La Jolla, CA 92037 (米国カリフォルニア州)

設立：2000年8月

資本金：\$ 26 mil

従業員：約50名

用語解説

プロテオミクスとは

蛋白質の一次構造から、高次構造の解析、翻訳後修飾の解析、生体での発現解析、各種相互作用や分子認識、機能の解析まで含め、広範囲に蛋白質の定性的及び定量的変化を解析する手段。これにより病気のしくみや進行の管理、治療薬の効果などにおける蛋白質の役割を直接理解していくことができる。